私の街こまつ
速いは近い つながる小松
THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

議会だより

2026
11.1
NO.223

＼Topic!／
令和7年度決算を認定



Contents

9月定例会 …… 2
初日質疑 …… 3
市政Q&A
代表質問・一般質問 …… 4
追加質疑 …… 14
予算決算常任委員会総括質疑… 15
常任委員会　審査報告 …… 18
特別委員会　調査報告 …… 21
議決結果 …… 22
活動ピックアップ…… 23

市議会HP　マチイロ

撮影　小松大谷高等学校写真部　1年　舟津（ふなつ） 大翔（ひろと）さん　撮影日 10月10日

9月定例会

会期〈9月1日～10月2日〉

9月1日　開会

市長提出議案

予算案　3件
条例案　6件
その他議案　7件

初日質疑（2人）
9日　代表質問（3人）
一般質問（3人）
10日　一般質問（6人）
11日　一般質問（5人）
17日　市長提出追加議案

予算案　2件
その他議案　1件

追加質疑（3人）
予算決算常任委員会総括質疑
18日～24日　各常任委員会（分科会）
25日　特別委員会
30日　予算決算常任委員会
10日2日　閉会

議員提出議案　6件

※議案等の採決結果（P22参照）

条例案等をチェック

（P20参照）

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。

予算案をチェック

（P18参照）

市長から提出のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。

令和8年度9月補正予算

一般会計	補正額	10億3,748万円
特別会計	補正額	1億1,562万3千円
合　計	補正額	11億5,310万3千円

一般会計の累計
588億5,269万9千円

全会計の累計
1,169億8,202万2千円

決算をチェック

（P18参照）

令和7年度決算については、予算決算常任委員会で審査されました。

令和7年度決算（歳出）

一般会計	549億359万円
特別会計	
国民健康保険事業	89億7,537万円
介護保険事業	102億6,614万円
公債管理	64億7,983万円
産業団地事業	2億3,284万円
後期高齢者医療	21億4,897万円

企業会計	
水道事業	23億2,537万円
下水道事業	40億6,341万円
小松市民病院事業	120億2,715万円

本会議の討論

（P22参照）

橋本議員から市長提出議案第67号・第70号・第71号、議員提出議案第11号に対し、反対討論がありました。

木下議員から請願第1号の不採択に対し、反対討論がありました。

議員提出議案をチェック

（賛否はP22参照）

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。

議案第7号	交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備についての意見書
議案第8号	「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への2030年登録に向けた「温泉文化」の保護・継承等への支援及び発信を求める意見書
議案第9号	オウム真理教（現Aleph・ひかりの輪・山田らの集団）に対する観察処分の更新等を求める意見書
議案第10号	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の改正趣旨を踏まえた支援策の確実な実施を求める意見書
議案第11号	国の予算編成見直しに当たり必要な対応を求める意見書
議案第12号	社会福祉施設職員等退職手当共済制度における保育所等に対する公費助成の継続を求める意見書

本会議初日質疑

生活応援プレミアム付商品券の発行についての議案1件が上程され、本会議初日に質疑が行われました。

初日質疑

生活応援プレミアム付商品券発行費について



新田（にった） 寛之（ひろゆき）
議員

動画でチェック

Q 第1弾の販売状況、利用状況は。

A 6月24日から8月31日まで販売を行い、販売率は速報値で約74%。利用状況では、8月15日までに約5億円が利用されており、使用率は約50%。

Q これまでの類似事業の申請率は。

A 令和7年度以降に実施した事業での申請率は、小松トチポが23.9%、働く世代応援自治体マイナポイントが58.1%、生活応援自治体マイナポイントが62.7%。

Q 少額でも利用できるよう額面を1,000円から500円に変更してはどうか。

A 利用者の利便性向上というメリットはあるが、印刷製本に係る経費や取扱店の事務負担などを総合的に勘案し、1,000円券で実施したい。

Q 販売数を世帯ではなく、世帯の人数に変更してはどうか。

A 世帯ごとに購入可能冊数が異なると、制度や事務手続が複雑になる。マイナポイントなどは個人単位で支給している。

Q 取扱店の検索は紙の冊子とそのPDFとなっているが、インターネット上での検索機能を導入すべきでは。

A 市のホームページの仕様変更にコストをかけるよりも、支援する額に充てていきたい。

Q 商品券を紙券だけではなく、電子マネーとのハイブリッドで対応すべきでは。

A 事業全体の費用対効果や取扱店の負担、運用の円滑性などを総合的に勘案すると、一つの事業の中で紙とデジタルを併用するハイブリッド方式で実施することは、現時点では難しい。

◆いい街こまつプレミアム第2弾について



濵口（はまぐち） 淳也（じゅんや）
議員

動画でチェック

Q 初日に議論する場合、最終日に議決する場合、臨時議会を開催する場合など様々な進め方があるが、今回なぜ初日に議決するのか。

A 商品券の印刷などの準備におおむね3か月を要し、利用期間終了後の換金など事業全体の精算完了にはおおむね2か月を要することから、12月に利用開始するために必要な準備期間と年度内の精算に必要な期間を確保するため。

Q 第1弾の商品券事業に参加されなかった小売店や事業者が、今回の第2弾から新たに参加したい場合、申込みの期限はあるか。

A 第2弾の開始を待つことなく、現在も受け付けており、第1弾商品券の取扱店として登録することも可能。募集期間は使用期限と同様で、1月末までを予定している。

代表質問



会派自民
表（おもて） 靖二（やすじ） 議員

代表質問 ― 括質問

小松市・加賀市自治体病院連携
小松市民病院
未来の医療を担う

動画でチェック

◆定住促進制度について

Q 建築費が約1.5倍高騰しているが、30、40万円程度の助成金で効果はあるのか。制度拡充はできないか。

A 本市と国の制度を併用することで、最大270万円の補助を受けることができる。また、今年度から住宅面積や転入条件を緩和し、制度の利用対象を拡大した。今後も建築費や金利の動向を注視し、柔軟に対応していきたい。

◆粟津駅について

Q ラウンドアバウトが完成し好評を得ている。今後、東西間の自由通路、駅西広場、駅西遊休地の活用等の課題があるが、今後の年次と見通しは。

A 今年度は駅舎前の広場や照明灯、バスシェルターを設置する。駅東側の工事は令和9年1月末の完成を予定している。令和9年度から自由通路、令和10年度から駅西広場の工事に着手し、令和11年度末の事業完了を目指す。

◆消雪装置について

Q 今議会に市道路消雪施設関連条例が上程されている。受益者負担金が倍額となっている理由と、消雪装置の維持経費が与える影響は。

A 道路消雪新設工事に係る地元負担金は、33年間見直しが行われていなかったことから、資材費や人件費の高騰を踏まえて再算定した。また、採択基準を10項目に整理し、数値化した。公平・適正な負担を求めるため、負担金と採択基準を明確化する条例案を上程したものである。消雪施設の関連経費は、33年前と比べ、人件費が約2倍、鉄や銅が約5倍となり、建設費、維持管理費ともに大幅に増加している。

◆未来型図書館について

Q 同図書館の政策理念は。年間約5億円に迫る維持経費であるが、高騰した場合の対応は。

A 未来型図書館は、①世代を問わず誰もが安心して過ごせる「みんなの居場所」、②本や情報、展示、体験が結びつく「学びの拠点」、③市民・企業・地域が交流し、新たなにぎわいや活動を生み出す「未来を育む場」の3つの役割を掲げている。

本事業は長期契約となるため、物価や賃金の変動には、事業契約に定める物価スライド等の規定に基づき適切に対応する。また、契約金額等の変更により、議会の議決が必要となる場合は、必要性や財政への影響を説明し、市民サービスと財政負担のバランスを見極めながら対応する。

◆小松市・加賀市自治体病院連携について

Q 小松市・加賀市の連携に能美市も加わるのか。各病院の役割分担及び将来の病院構想に如何なる影響を与えるのか。

A 能美市とは自治体間協定には至っていないものの、役割分担は以前から進んでいる。小松市と加賀市は、両病院を存続させることを前提に、高難度手術や救急搬送の役割分担、診療科の再編・集約化について協議を進める。

協議会の設置を契機に、加賀市、能美市及び市内の民間病院を含む南加賀医療圏全体で連携する。今後の医療需要や各医療機関の機能分化を踏まえ、当院に必要な機能を明確化するとともに、病床数を含む適正な施設規模を精査する。その内容を新病院の設計に反映していく。

◆市観光交流センター条例について

Q Komatsu九（ナイン）、ザ・マッツなど駅隣接の諸施設を一括管理する条例であるが、その意図するところは。

A 駅周辺の施設を1つのエリアとして捉え、各施設の役割を生かしながら、利用者の利便性向上や施設間の回遊、連携イベント、情報発信などを進め、駅周辺全体のにぎわい創出につなげる。

動画は QR コードからどうぞ